



杉並区児童青少年センター（ゆう杉並） 行政視察報告書

視察日：令和6年7月17日（水）

1 施設概要

中学生・高校生が文化や芸術、スポーツなど自主的な活動をし、活き活きと交流できる居場所
(男女平等推進センター、ゲートボール場を併設)

コンセプト：「ようこそ、ゆう杉並へ！」の気持ちで暖かく迎える、ロビーワークの強化、
地域連携の推進

スタッフが館内をウロウロして、
見守りではなくおせっかいする

【開館時間】

年末年始、毎週第2・第4月曜日は休館

火曜～土曜：午前9時～午後7時（高校生の学習利用は午後9時まで）

開館する月曜日・日曜・祝日：午前9時～午後5時

【利用者】

保護者同伴の乳幼児、小・中・高校生・・・1日平均130人程度

3名以上で、その半数以上が区内在住・在学の団体は団体利用が可能（午後9時まで）

【利用料】

無料

【所管課】

杉並区児童青少年課

正規職員11名（全員保育士資格者）、会計年度任用職員7名（社会福祉士や心理士等の資格者）

2 主な運営内容

年度最初の定例会での意見

①中高生運営委員会

利用者の中から希望者を募り，区長から1年任期で任命された中高生で組織している
令和6年度は8人構成

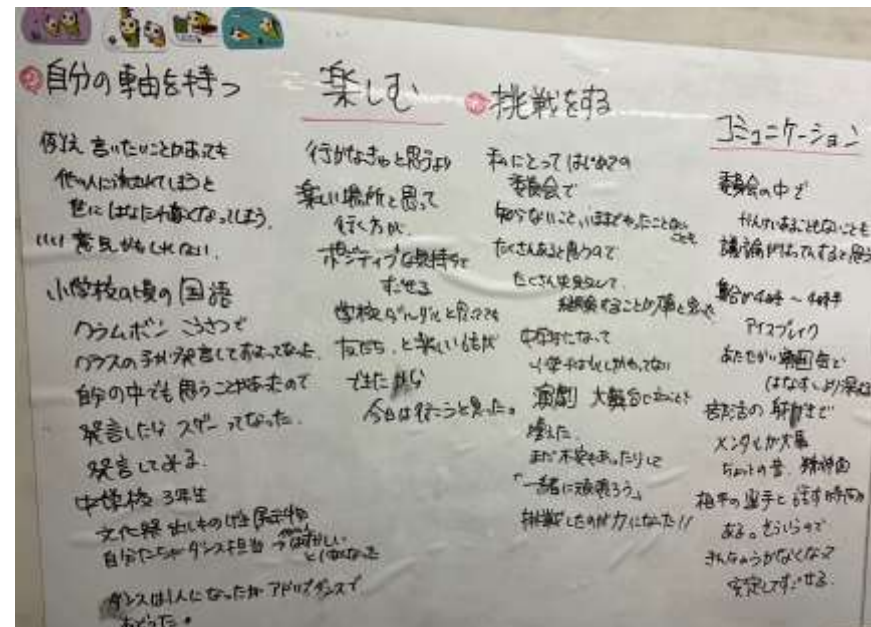
月に1～2回，委員全員が集まる定例会を基本に，広聴・広報・自主企画・見学交流の4つの活動も並行して行っている。

広聴：意見箱や利用者懇談会等を通じて得た利用者の意見を運営に活かす

広報：ホームページ等を通じた施設PR

自主企画：利用者ニーズを活かしたイベントの企画運営
文化祭「アクティブフェスタ」の実施

見学交流：他自治体が運営する中高生居場所の見学や交流



新しい漫画は投票とロビーミーティングで決定したもの

2 主な運営内容

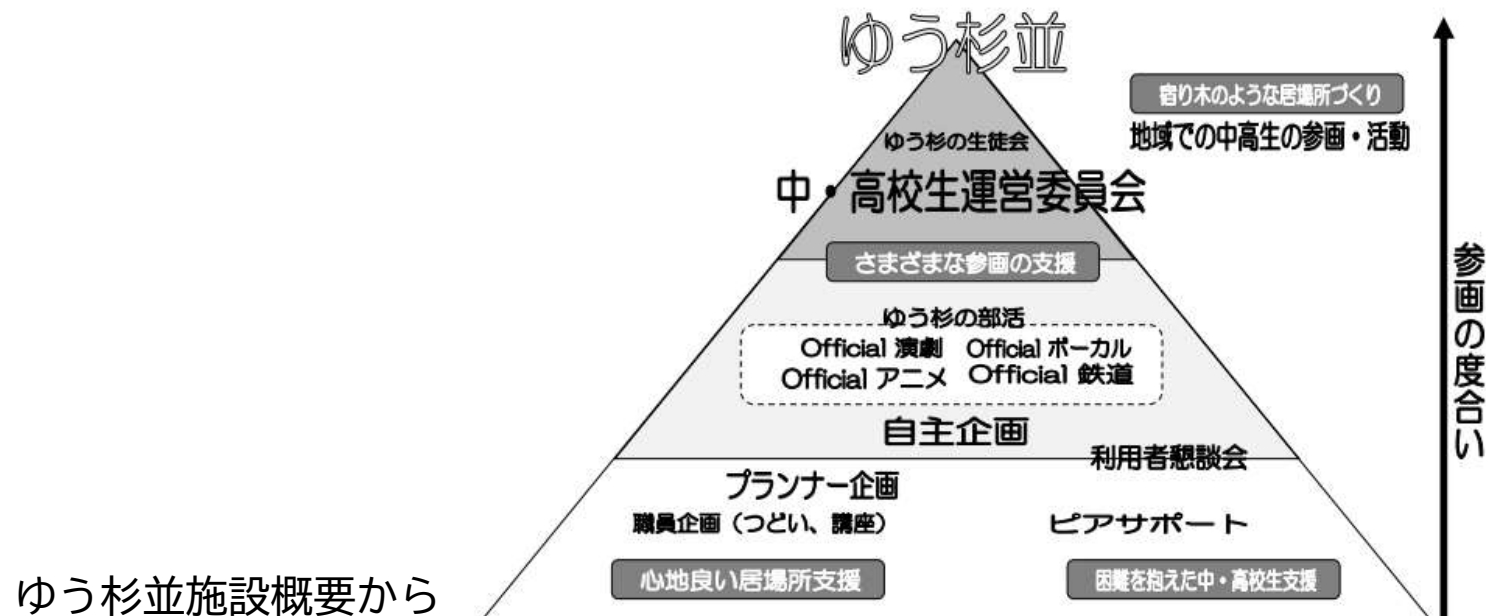
②さまざまな企画

中・高校生の自主企画：バンド・ダンスライブ、TV ゲーム大会、国際交流企画等

職員企画・プランナー企画：各種楽器講座、ダンス講座、スポーツの集い、クライミング講座等

企画のほとんどは自主企画であり，職員は子どもたちがしたいことを，子どもたちでできるようにサポートをしている

ゆう杉並の参画のイメージ



2 主な運営内容

③オフィシャル活動（部活動）

ボーカル，演劇，アニメ，鉄道の4つのグループが通年で活動している

ボーカル・演劇：技術向上と施設外公演（地域のお祭り等）を目標に活動
プロの講師のレッスンを受けている

アニメ・鉄道：居場所と自己実現を目標に活動

【施設の狙い】

自分の好きなことをする→人のために活動する→褒められる→自己有用感の向上
このため，鉄道も仲間とのトーク等を楽しむだけではなく，施設内外のイベント時に地域の子どもたちが楽しめるよう，模型展示等の活動も行っている



地域まつりでのボーカル部の様子
東京都の地域児童館等活動紹介から



演劇部の公演の様子
東京都の地域児童館等活動紹介から



開放的なロビー
自動販売機や書籍（漫画）も設置されている



鑑賞コーナーという部屋で、3グループがゲームで遊べる
ゲームやソフトの持ち込みも可能だが、ソフトの貸し出しもある



体育館は3面に仕切られている
この写真では1面部分をさらに仕切って、多くの
子が遊べるようにしている



第2回社会教育委員会議 文京区青少年プラザ（b-lab）視察報告書

視察日：令和5年11月25日（土）

1 施設概要

文京区の複合施設である教育センター内に設置された中高生向けの施設
コンセプトは「いつでも, なんでも挑戦できる中高生の秘密基地」

【開館時間】

年末年始を除いてほぼ年中無休 午前9時～午後9時（中学生は午後8時まで）

【利用者】

文京区に在住・在学・在勤の中高生世代

【利用料】

無料

【所管課】

文京区児童青少年課

【運営業務の受託者】

認定特定NPO法人カタリバ

大学生ボランティアの学生スタッフ, 希望する利用者也ボランティアスタッフとして活動できる

2 委員の注目ポイント

ハード面

教育センターに隣接しており、その機能をインフォーマルにも使用できている

明るく開放感のある建物の設計やデザイン、空間づくり

b-labの位置する場所が良い。館内に入ると正面に明るく楽しそうなb-labが目に入る。科学教室などに来る小学生親子や、教育センターでの教員研修時などに広く知ってもらえることができる

居場所、談笑、運動、調理、作業など、目的に合った利用ができる
できることが多い

限られたスペースの中で、用途に合わせた広さが確保されている
(ホールや運動場は広々と、受付や1階ロビーは収納を上手く使用しているなど)

1～3階が吹き抜けの施設になっていて、外観がとても良い

採光にも優れ、施設自体がとても開放的



文京区教育センター外観(文京区ホームページより)

3 委員の注目ポイント

枠組み面

行政(文京区)と委託事業者との関係、協業が良好

b-lab、秘密基地などの
ネーミング、ロゴマークデ
ザインのセンスが良い

コンセプト等の枠組みがしっかりとしており, すべての
取組が有機的につながっている

教育センターの他部署と
協業・情報共有できている

施設コンセプト
「居場所」ー「きっかけ」ー「ステージ」

隣接する教育センターの機能を
インフォーマルにも使用できている

法人やボランティアを活用しながら, スタッフ
と生徒との信頼関係が上手に取れている

利用対象者(中高生)を明確に絞り、事業、
運営の中で共感メッセージを発信している



受付前のウェルカムボード

4 委員の注目ポイント

運営面1

黒板やホワイトボード、張り紙などの言葉選びが否定的ではなく、肯定的

ルールメイキングなど、中高生の希望を取り入れながらイベントの企画がされている

年中無休

定期的に文化祭(フェス)を開催している

SNSでタイムリーな情報、学校への広報紙など様々な媒体で広報をしている

多様性のある利用者の居場所として様々な配慮が感じられる

色々なサークル(コミュニティ)がある

中高生が主体的に活動している主体性を重視している

受付、貸出手続きなど、コミュニケーションの機会を設定している



座った時の目線上に謎解きステッカー
謎解きを通じてスタッフとの交流を創出
(1階カウンター席にて)

5 委員の注目ポイント

運営面2

近所の兄さん, 姉さんの
ナナメの関係がある

b-labに関わる大人たちの専門的な知識と, 利用する
際の安全性や注意喚起などの張り紙を活用している
点が一番印象に残った

学生スタッフ(フロアキャスト)が自主的
かつ積極的に子供たちに関わっている

スタッフの見守り, 声かけの充実

スタッフの関わり方も寄り添い・壁打ち・
見守りなどそれぞれグラデーションがあ
り、利用者の親近感や信頼感醸成を意識
していること

スタッフの意識や専門性の高さ

スタッフのノウハウ(対人的な距離感, さりげない見
守り, 壁の装飾や物品の配置などのしかけづくり,
イベントの企画, 広報など)の質がとても高い



ごろ寝スペース
近くの本棚にスタッフや利用者がメッセージを書ける黒板